

競技注意事項

1. 競技規則について

2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 選手受付について：競技場正面入口付近に設置する。（雨天時は、別の場所の場合もある。）

各団体の監督・指導者により受付を行う。（朝**7時15分より開始**）

【提出物】①個人情報取り扱いの確認及び監督・指導者AD申請書（様式A）

※監督・指導者は各団体の顧問および指導者とする。

②欠場届（様式B） エントリーしている選手で、あらかじめ不参加の選手がいる場合は提出する。

③外部指導者申請書（様式C） 必要な場合のみ提出する。

④プログラム訂正用紙（様式D） 訂正箇所がある場合は提出する。

【配付物】①プログラム（選手3人に1冊+団体用1冊）

②監督・指導者AD（水色ビブス） ※申請がある場合のみ配布。

※HPにアップできなかった連絡事項がある場合は、連絡徹底用紙を配付することもある。

※1日目に受付を行わない団体は、2日目にTICにて選手受付を行う。

※領収書の配布はないため、JAAFエントリーシステムから支払証明書を発行して利用する。

3. TICについて：競技場正面玄関ホールに設置する。

(1)プログラムの記載ミス（氏名、刀ガナ、学年、所属等）に関するプログラム訂正用紙の受付

(2)各種問い合わせ、審判長への抗議・上訴の受付、落とし物の取り扱いなど

(3)プログラム販売（1冊500円）

※リレーオーダー用紙（様式E）の提出は招集所に直接提出すること

4. 招集について

(1)本競技場100mスタート付近の入場ゲートで招集を行う。次に、選手は現地（トラック種目は、各種目のスタート地点。※1500mは400mスタート付近。フィールド種目は、各種目の競技場所に設ける。）に移動し、最終点呼を受ける。

（別紙「招集時及びフィニッシュ後の競技場内での選手の動き」を参照のこと）。

(2)各種目の招集開始時刻ならびに招集完了時刻は、競技日程に記載の通りとする。

(3)招集の際、ユニフォーム、アスリートビブス、シューズ、商標等をチェックする。

※ランニングパンツとスパッツを併用（重ね着）する際はどちらかの商標を隠す。できればランニングパンツとスパッツの併用（重ね着）は控え、どちらか一方のみの着用としたい。

(4)必ず本人が招集を受けることとし、代理人による招集は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集の際に、招集所備え付けの「2種目同時出場届」を競技者係（入場ゲート係員）に提出すること。届け出が完了すれば第2種目の招集を事前に受けることができる。

(5)欠場・途中棄権をする場合は、該当種目の招集完了時刻までに、本人または代理人が必ず競技者係に申し出る。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を欠場・棄権したものとみなす。

(6)トラックの横断は、細心の注意を払うこと。

(7)混成（四種）競技者は、1日目と2日目の最初の種目は招集を行う。その日の2種目目は混成競技控室に招集完了時刻までに集合する。

(8)リレーのオーダー用紙（様式E）は、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。

5. アスリートビブス、腰ナンバー標識

(1)アスリートビブスは各団体（各選手）で持参し、そのままの大きさと胸と背部に確実に固定する（跳躍競技については胸または背部どちらかでもよい）。

(2)必ずプログラムに記載されたナンバー（登録ナンバーと同一）が記載されたカードを用いる。

※縦16cm×横24cm以内とする。

(3)800m、1500m、3000mの競技者は、自分のアスリートビブス（ナンバーカード）を胸と背に固定するとともに、招集時に腰ナンバー標識を受け取り、右側のやや後ろ側、臀部から太ももまでの間で見える位置につける。シャツを出す場合には、シャツにつけてもよい。汗ではがれるため、肌に直接つけることは推奨しない。なお、腰ナンバー標識はシール式のため返却はしない。

6. 競技方法について

(1)トラック競技

①レーン順はプログラム記載の通りとする。

②短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられた

レーン（曲走路）を走る。

③競技規則 TR16.5「スタートにおける警告」に関するルールは適用する。

④短距離走においては、予選の記録によりA決勝（着取り＋上位者の合わせて8名 ※場合によってはタイムレース8位）とB決勝（タイムレース9位～16位）を行う。本大会における1～8位についてはA決勝の順位で決定を行い、B決勝の選手の記録が上位になっても総合順位が入れ替わることはない。

⑤予選のあるトラック競技の決勝の組合せ及びレーン順は、長野陸協HPおよび競技場正面入り口付近にて発表する

⑥直線で行うトラック競技については、バックストレート側の走路を使用する場合もある。バックストレートを使用する場合は、競技開始30分前までにアナウンスで告知する。

(2) フィールド競技

①試技順はプログラム記載の通りとする。

②フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従うこと。

③跳躍種目の競技者は、助走路の外側に主催者が用意した規定のマーカーを2個まで置くことができる。走高跳は競技者が準備したマーカーを助走路内に2箇所まで置くことができる。これらの撤去は使用した競技者が責任をもって行う。

④砲丸投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを1つだけ置くことができる。これらの撤去は使用した競技者が責任をもって行う。

⑤走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下の通りとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更することもある。なお、混成競技については最後の1人になっても上げ方の変更はしない。

○走高跳…2ピットで行う。

《男子》（練習：1m35, 1m55, 1m75）1m40から1m70までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる

《女子》（練習：1m25, 1m40, 1m55）1m30から1m45までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる

○四種競技（走高跳）…男子は2ピット、女子は1ピットで行う。

《男子》（練習：各ピット3段階）1m20から1m60までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる

《女子》（練習：1m10を含む3～4段階）1m10から1m35までは5cmずつ上げ、以後3cmずつ上げる

なお、男子共通四種競技走高跳について、競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。1日目の砲丸投の招集時に競技役員へ走高跳の最初の高さを申告すること。

○棒高跳

《男子》（練習：3～4段階）2m20から2m60cmまでは20cmずつ上げ、以降10cmずつ上げる

《女子》（練習：3～4段階）1m80から2m40まで20cmずつ上げ、以降10cmずつ上げる。

(3) リレー競技

○4×100mリレーの競技者は、自らが用意した大きさが最大50mm×400mmの粘着テープを1箇所、自らのレーン内に貼ることが許される。それ以外のマーカーの使用は認められない。その撤去は使用したチームが責任をもって行う。

(4) 抗議と上訴

○競技会進行中に起きた競技者の行為及び順位に関する抗議は、正式結果が発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、その種目に出場した競技者自身または代理人が「TIC」まで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、ジュリーに上訴することができる。その手続きは、「上訴申請書」を記入し預託金（1万円）を添え、TICまで申し出る。

(5) 助力

①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出た上で、競技役員の手配に従って行動しなければならない。

②ビデオ装置、ミュージックプレーヤー、携帯電話等の外部との通信機能のある機器等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を競技場内に持ち込むことはできない。

③監督・指導者（引率者・外部指導者）からの助言はコーチングエリア（CA）のみとする。その際、監督・指導者ADを提示すること（ビブスを着用）。なお、競技役員をしている監督・指導者は審判員証で代用する。その際、撮影した機器の提供者のすぐ近くの位置で競技者が手

に取って操作することは助力にはならないが、映像確認後に提供者に再生機器等を返さず、競技場所等へ持ち込む場合は助力とみなす。(TR6.4.5)

7. 表彰について

- (1)各種目、第1位から第8位には賞状を授与する。
- (2)競技終了30分後を目安に表彰式を行う。第8位までの入賞者は競技役員の手指示に従い、表彰会場(2Fコンコース)に移動する。その後については、表彰係の手指示に従うこと。なお、表彰時に他の出場種目がある場合は、代理の者を出すこと。
※複数の表彰が行われるため、選手がそろっていない場合でも表彰を行うことがある。その場合、賞状はTICで受け取ること。

8. 北信越大会について

- (1)本大会において、リレーはすでに県大会にて決定しているリレー2チームを除く1チームについて、競技結果をもとに選考し、北信越大会に推薦する。
- (2)(1)の該当団体の代表者は、20日(日)の競技終了後にTIC(競技場正面:玄関ホール)に申し出る。
- (3)北信越大会に関わる参加料等の受付は、以下の時間にTICにて行う。
※両日とも7:15~9:00

9. 全国大会について

本大会で全国大会参加標準記録を突破した競技者は、8月17日(日)~20日(水)に沖縄県沖縄市田ピック県総ひやごんスタジアムにおいて開催される第52回全日本中学校陸上競技選手権大会への出場権を得る。該当の競技者もしくは団体代表者は本大会期間中に、TICにて申し込み手続きを行う。

10. その他

- (1)競技で使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。
- (2)円盤投およびジャベリックスローの練習はアクアウイング横の運動場を利用する。練習の際は必ず指導者が付き添い、安全に行う。また、道路を横断する際は、必ず横断歩道を渡る。
- (3)スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳およびジャベリックスローは12mm以内とする。
- (4)競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。衣類、バッグなどに描かれている商標が規定の大きさに反する場合には、商標を隠すために競技役員がテープ等を貼ることもある。
- (5)スムーズな競技運営のため、メインスタンドおよび競技を行っている場所の近くでの連呼の応援は禁止する(メガホン等鳴り物の応援も禁止する)。競技役員による指導が入った場合は、速やかに応じる。
※選手が集中しやすい環境づくりに協力をお願いしたい。また、2Fコンコースの競技場寄りの場所を待機場所として利用する場合は、声が競技場内に届きやすいため、競技中は注意すること。
- (6)スタンドでの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認められず、撮影禁止エリアでの撮影は一切できない。また、本人・保護者の許可なく部外へ掲載したりデータ送信したりすることは厳禁とする。
- (7)ゴミは各自持ち帰ること。
- (8)プログラムに記載されている個人情報、大会運営業務以外には使用しない。ただし、競技成績は、長野陸上競技協会のホームページに掲載される。
- (9)昨今、盗難事象が発生することがあるため、各団体待機場所が無人にならないようにするなど、団体毎に管理をお願いしたい。
- (10)競技結果は選手・指導者が確認できるように、2Fコンコースに掲示を行う。また、アナウンスによる発表とともに、長野陸協Data_Webの結果ページ(https://nrk-dir.jp/result/result_2024)に1種目終了するごとに結果をアップするので、そちらで確認すること。